

令和元年度 AIA国際活動助成金交付事業報告

2020.3.31現在

令和元年度AIA国際活動助成金交付の事業報告をします。

1期募集で5団体、2期募集で2団体、合計7団体が計530,000円のAIA国際活動助成金の交付を受けて事業を実施しました。

音楽や交流会を通じて異文化を理解する事業のほか、日本語教育から多文化共生を考える事業もあり幅の広い活動を支援することで地域の活性化が実現され多文化共生の推進となりました。

今後とも、秋田県の国際化、および多文化共生推進活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

※ご覧ください※

ホームページ

URL: www.aiahome.or.jp

facebook



公益財団法人 秋田県国際交流協会

Akita International Association(AIA)

〒010-0001

秋田市中通2-3-8 アトリオン1F

TEL: 018-893-5499

FAX: 018-825-2566

E-mail: aia@home.or.jp

団体名	事業名	交付金額	事業概要
クラシック倶楽部リサイタル実行委員会	クラシック倶楽部リサイタル	80,000	イタリア、オーストリア、ポーランド、ドイツ、日本のクラシック音楽の演奏を通じて、各国の音楽形式や表現の違いを聴衆（180名）に伝え、音楽がもつ異文化への興味と関心度を高めることができた。演奏会終了後のアンケートでは、原語で外国の歌を歌う意味を感じた、プログラムの説明が分かりやすかった、プログラムの構成が良いリサイタルであり次回に期待するなどがあった。
秋田ユネスコ協会	世界と語ろう！ユネスコカフェ～豊かな社会にとって必要なこと～	80,000	アメリカ、カンボジア、台湾、モンゴル、ジンバブエ、マレーシア、ベトナム、ウクライナ、韓国、ルーマニア、ポーランド、ドイツ、ラオスなど12ヶ国以上の海外出身者の話を聞くことができた。海外から秋田に住む人と参加者が国籍や世代を超え、それぞれの「豊かさ」を共有しながら、豊かな社会のために必要なことを探った。「豊かさ」の違いを知り、互いの価値観を尊重することが重要であり、互いを「知る」ための話合いにより、「違い」を「豊かさ」に変えられる関係性を促進した。

AIA国際活動助成金交付事業一覧

2020.3.31現在

団体名	事業名	交付金額	事業概要
国際交流オープンクラス	笑顔の異文化交流でつながろう	80,000	4/21～8/25まで8回の異文化交流会を実施し、のべ182人の参加があった。「スマイル&トーク&トーク」ではフランス・ブルンジ・マレーシア・ラオス・カンボジアの留学生と異文化交流をし、「食文化シリーズ」ではマレーシア料理及び中国料理を作り、アジアの国々を食を通して身近に感じることができた。「文化シリーズ」では折り紙を、「ハッピースマイルシリーズ」では歌遊び、手遊び、笑いヨガ、ゲームを通じて交流し、笑顔は世界共通語であることを体験した。
北東アジア学生ラウンドテーブル（SRT）	北東アジア学生ラウンドテーブル2019	80,000	北東アジア地域（日本・韓国・台湾・モンゴルの4か国・地域）から60名の学生が参加し「北東アジアが世界のために何ができるか」というテーマで国際会議を開催した。「文化保全」「環境」「安全保障」「LGBTQ」の4分科会で北東アジア地域の問題とその解決策を模索し、相互理解を深めた。開催後に高校を訪問し、本会議で得た知識や経験などの成果を地域社会に還元し、国際問題や海外交流活動に対する高校生の関心を高めた。
秋田日本語教育研究会	日本語学習支援ネットワーク推進事業	80,000	「日本語学習支援ネットワーク会議2019inAkita」を開催し、日本語教育の中でも喫急の課題である外国につながる児童・生徒の日本語および教科学習支援等について、現状と課題などの情報を共有した。講師から全国的な動きや政策、他県や県内の事例について学んだり、発達障がいと混同されやすい現場での支援のあり方などについて情報提供された。会議参加者間でのネットワーク構築の第一歩となった。
カポエイラ・ヘジヨナル・ジャパン秋田	2019 秋田カポエイラフェスティバル	80,000	県内の保育園や幼稚園でカポエイラ体験会を実施し、幼少期の運動神経の発育促進と、ブラジル人とのコミュニケーションによるグローバルな考えの育成機会を作った。3か所の保育園・こども園で、のべ100人の園児が体験し文化交流をした。また、秋田市ブラスタではカポエイラ愛好者向けのレッスンに、のべ60人が参加しレベルアップを図った。セリオンで実施したカポエイラフェスティバルでは、参加・見学者150人がカポエイラのパフォーマンスでブラジル文化への造詣を深めた。
男鹿市国際交流協会	地元外国人とのふれあいパーティー	50,000	外国出身者と市内の小中高生が、地元料理専門家の支援により「秋田だまご鍋」を調理し、地元料理を伝授された。また、意見交換では、外国出身者の自国の伝統文化や伝統料理などを紹介してもらい、小中高生からは、日本料理の好きな食べ物や好きなスポーツの話題で、普段交流機会のない県内在住外国出身者と小中高生、市民が外国文化に触れ、世代を超えて交流し、相互に国際文化への理解を深めることができた。

